

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: ナウス 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・社員には女性や外国人も多く在籍しており、差別やハラスメントがなく全ての社員が活躍できる職場づくりに努めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社員のメンタルヘルスを確保するために、定期的な面談を実施している。 ・悪天候時の業務の外出については社員の安全を確保するため制限を設けている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・外国人従業員も含め、すべての従業員(正社員・スタッフ・パート社員)に対し公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の削減など、働き方改革への取組みや有給休暇などの取得奨励を実施している。 ・家事や育児など、社員の柔軟な働き方に対応している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社内外の研修やセミナーに参加する機会を設け、計画的な人材育成及びスキルアップの体制を構築している。 ・業務上のスキルだけでなく、環境や社会へ与える影響の観点についても社員の意識醸成に努めている。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の心身の健康が経営上重要な柱の一つと位置づけ、社員が笑顔で輝きながら働く企業づくりを目指して取り組んでいる。 ・【予定】健康経営優良法人認定取得を目指す(2022年3月)			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・外国人を含む全ての社員が活躍できる職場環境を構築している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・Web会議の導入やオンラインでの授業の実施など、感染対策の取組を進めている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・オンライン授業の導入や、外国人労働者との面談をWebで行うなどICT化を進めている。 ・【予定】各種学習動画の作成及び動画プラットフォームを構築する。(2022年10月)								8	9.1		11	12							
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: ナウス 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・業務上発生する廃棄物については、適切に分別及び処理を行っている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・2020年に新社屋となり、吹き抜けがあり明るく開放的な空間において、LED使用の徹底や節電に取り組んでいる。 ・【予定】熊本県簡易計算シートを活用し、エネルギー量の把握及び削減に取り組む(2022年10月)。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社屋の室内温度を適切に管理し、CO2排出の抑制に取り組んでいる。 ・【予定】熊本県簡易計算シートを活用し、温室効果ガス排出量の把握及び削減に取り組む(2022年10月)。		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動だけでなく、従業員や外国人労働者の活動において、プラスチックなどの使用削減に努めている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・プリンター設置場所に1枚あたりの印刷コストを掲示し、社員のペーパーレス化を推進している。 ・【予定】使用するコピー用紙について、環境配慮型の再生紙へ切替を行う(2022年10月)									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水を実施している。 ・【予定】外国人労働者に対し、熊本の水資源についての教育を行い、地域環境保全の意識を醸成する(2022年10月)		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・【予定】使用するコピー用紙について、環境配慮型の再生紙へ切替を行う(2022年10月)									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社の敷地内に樹木を植え、実った果実等は社員に提供している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・新社屋についてはLEDを導入しており、エネルギーの効率的な利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・事業所内で出るプラスチックごみに関しては、分別ゴミBOXを設置し適切に分別処理を行っている。 ・ペットボトル削減のため、マイボトル利用を推進している。											12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車は全てハイブリット車を利用している。 ・【予定】徒歩や自転車での通勤を推奨する。(2022年10月)										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

